

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】令和6年5月2日(2024.5.2)

【国際公開番号】WO2023/032915
 【出願番号】特願2023-545559(P2023-545559)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/28(2006.01)

B 3 2 B 27/30(2006.01)

【FI】

B 3 2 B 27/28 1 0 1

B 3 2 B 27/30 A

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年2月6日(2024.2.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0030】

例えば、エチレンと、不飽和カルボン酸との総量に対して、エチレンが、例えば、75質量%以上、好ましくは、78質量%以上、より好ましくは、80質量%以上である。また、エチレンと、不飽和カルボン酸との総量に対して、エチレンが、例えば、90質量%以下、好ましくは、88質量%以下、より好ましくは、85質量%以下である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【0068】

例えば、(メタ)アクリル酸エステルと共重合性モノマーとの総量に対して、(メタ)アクリル酸エステルが、例えば、10質量%以上、好ましくは、20質量%以上、より好ましくは、30質量%以上、さらに好ましくは、40質量%以上、とりわけ好ましくは、50質量%以上である。また、(メタ)アクリル酸エステルと共重合性モノマーとの総量に対して、(メタ)アクリル酸エステルが、例えば、90質量%以下、好ましくは、80質量%以下、より好ましくは、70質量%以下、さらに好ましくは、60質量%以下である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0069

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0069】

また、(メタ)アクリル酸エステルと共重合性モノマーとの総量に対して、共重合性モノマーが、例えば、10質量%以上、好ましくは、20質量%以上、より好ましくは、30質量%以上、さらに好ましくは、40質量%以上である。また、(メタ)アクリル酸エステルと共重合性モノマーとの総量に対して、共重合性モノマーが、例えば、90質量%以下、好ましくは、80質量%以下、より好ましくは、70質量%以下、さらに好ましくは、60質量%以下、とりわけ好ましくは、50質量%以下である。

50

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0135

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0135】

例えば、エチレンと、不飽和カルボン酸との総量に対して、エチレンが、例えば、75質量%以上、好ましくは、78質量%以上、より好ましくは、80質量%以上である。また、エチレンと、不飽和カルボン酸との総量に対して、エチレンが、例えば、90質量%以下、好ましくは、88質量%以下、より好ましくは、85質量%以下である。

10

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0157

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0157】

例えば、(メタ)アクリル酸エステルと共重合性モノマーとの総量に対して、(メタ)アクリル酸エステルが、例えば、10質量%以上、好ましくは、20質量%以上、より好ましくは、30質量%以上、さらに好ましくは、40質量%以上、とりわけ好ましくは、50質量%以上である。また、(メタ)アクリル酸エステルと共重合性モノマーとの総量に対して、(メタ)アクリル酸エステルが、例えば、90質量%以下、好ましくは、80質量%以下、より好ましくは、70質量%以下、さらに好ましくは、60質量%以下である。

20

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0158

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0158】

また、(メタ)アクリル酸エステルと共重合性モノマーとの総量に対して、共重合性モノマーが、例えば、10質量%以上、好ましくは、20質量%以上、より好ましくは、30質量%以上、さらに好ましくは、40質量%以上である。また、(メタ)アクリル酸エステルと共重合性モノマーとの総量に対して、共重合性モノマーが、例えば、90質量%以下、好ましくは、80質量%以下、より好ましくは、70質量%以下、さらに好ましくは、60質量%以下、とりわけ好ましくは、50質量%以下である。

30

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0222

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0222】

(2)第2コート材

準備例4(A2分散液)

第2エチレン・不飽和カルボン酸共重合体(A2)としてのケミパールS100(原料中のエチレン含有量:85質量%、不飽和カルボン酸の種類:メタクリル酸、水酸化ナトリウム中和品、固形分27%、三井化学社製)を、準備した。これにより、A2分散液を得た。

準備例5(B2分散液)

スチレン44.5質量部、アクリル酸n-ブチル52.5質量部、メタクリル酸3質量部およびn-ドデシルメルカプタン(分子量調節剤)0.2質量部を、ドデシルベンゼン

40

50

スルホン酸ソーダ（乳化剤）0.4質量部によって、脱イオン水40質量部中に乳化させ、得られた乳化混合物を、2時間で反応容器に滴下し、その後、80℃で2時間保持することにより、重合を完結させた。これにより、第2アクリル重合体（B2）を形成した。これにより、B2分散液を得た。

10

20

30

40

50